

教職大学院 6期生を迎えて



専攻長 織田 泰幸

6期生のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職大学院ではぜひとも学びを深めてみなさん自身の成長につなげてほしいと思います。

大学院のキーワードを3つ挙げます。

1つ目は探究(inquiry)です。大学院では多くの書物を読み、心ゆくまで自分の関心のあるテーマを探究することができます。

2つ目は多様性(diversity)です。院生のみなさんと同じように、私たち専任教員もまた多様で個性的な存在です。これらの多様性を生かして創造的な学びを追求することができます。

3つ目はコホート(cohort: 同じ世代の共に学ぶ仲間たち)です。授業で修得する知識やスキルだけでなく、大学院で出会う仲間たちとの良き関係がきっと生涯の財産になります。

これから2年間、共に頑張りましょう！

6期生紹介

伊藤 美香 県立飯野高等学校	コロナ禍の中、急速なオンライン授業の普及などで近年教育の現場のDX化が目覚ましい速度で進んでいます。しかし、現場では日々の業務に追われ、ICT機器やネットの有効活用について考える時間ありません。大学院では有効活用の方法や情報共有について学び、考えたいと思っています。
諸岡 知徳 鈴鹿市立稲生小学校	教職10年目を迎えました。この節目の年に教職大学院に入学することができ、この10年間を見つめ直す有難い機会をいただけたなと感じています。この10年はとにかく我武者羅に突っ走ってきたように思います。教職大学院では、この機会に自分自身の経験や実践を整理したり意味付けたりしながら、将来の展望につなげていきたいと思っています。
井川 智嗣 高等学校社会科志望	広島県から来ました、井川と申します。三重大学教職大学院では、これまで以上に自分自身の視野、見聞を広げていきたいと思っています。「人を理解する」ことをテーマに研究を行っていき、連携実習等では、児童生徒の目線に立って授業を行うことを目指していきたいと思っています。2年間よろしくお願い致します。
西田 紀香 小学校志望	私は教職大学院で、学校生活の基盤となる学級経営について学んでいきたいです。子ども達の受容と主体性を育てる教師の働きかけについて、学級経営の観点から研究したいと考えています。様々な分野の先生方や院生の方々と学びの中で教職に関する知識や思考を深め、目の前の子どもに対応できる力を身につけたいです。
水谷 響 小学校志望	三重県は少子高齢化の影響で、学校の小規模化が進んでいます。こうした小規模校は、大規模校と比べて教員の数や設備の充実度など、様々な面で課題も見受けられます。地域や学校の規模に関わらず、全ての子どもたちに等しく質の高い教育を施せるようにするための方法を探究していきたいです。
麻田 理央菜 高等学校国語科志望	「考えること」を大切にしたい授業方法、これが大学院で主に学びたい内容です。これは筆者の主張の理由や登場人物の心情などを読み解くことだけではありません。それらを受けて、あなたはどのように考えていますか？ その理由はなんですか？…ここまでを指します。様々な年代の方々や専門性を持つ方々と共に学修し、充実した2年間にしていきます。
石井 紀行 小学校志望	私が教職大学院に進学した理由は、ICTやグループ学習などを有効的に活用したあらゆる授業デザインの方法を学びたいと考えたからです。小学校社会科においての主体的・対話的で深い学びが実現できるような授業を中心に、他教科にも横断的な視点で実践できる授業デザインを学んでいきたいです。
岩崎 恵都 高等学校国語科志望	教職大学院ではより実践的な学びをしていきたいと思っています。希望校種は高校ですが、小学校や中学校の国語科についても学びを深めたいです。特に学部時代は古典文学を扱っていたため、古典文学の対話的な授業について考えていきたいと思っています。

岡田 有輝 中学校数学科志望	学部の4年間はコロナウイルスの流行で、1か月の教育実習が無くなってしまい、現場での実践が足りないことに不安が残りました。教職大学院では、学部では学ぶ機会がなかった教育理論を勉強し、その理論を活用して授業実践を繰り返すことで2年後まで自分なりの授業スタイルを確立させたいです。
片山 有梨世 津市立南立誠小学校	教える側から学ぶ側へ。教師として学ぶことは多いですが、学生として学ぶとなると意味合いは大きく違います。子どもたちは普段どんな気持ちで授業を受けているのだろうか？自分の授業を振り返りながら、たくさんのことを学び、吸収したいです。そして、新しい自分を発見できる2年間にしたいです。よろしくお願いします。
川本 正祥 高等学校数学科志望	私が教職大学院で学びたいことは、生徒が数学に関しておもしろいと感じたり、学びたいと感じられるような授業作りを学ぶことです。教育実習や現職の教員の方々と交流をすることで教育現場の現状を知り、より現実的な方法を探したいと思っています。
高林 拓斗 高等学校数学科志望	私は学部での教育実習で自らの指導力不足を実感し、不安を払拭するために進学を決めました。教職大学院では、みなさんと授業や会話を通し、たくさんのことを学び、自分のものにしていきたいです。2年後には確かな指導力を身につけ、数学の魅力、素晴らしさを生徒と共有できる教師となり、現場で活躍したいです。
樋田 有秋 高等学校数学科志望	「なぜ数学を勉強しなければいけないのか。また、学校で学んだことが今に生きているのか」これは数学が苦手な生徒だけでなく、数学が得意な生徒、さらにはかつて生徒だった大人も一度は持ったことがある疑問だと思います。これから院でさらに学び、生徒にこの質問をされたとき、納得できる答えを自信持って答えることができるようになりたいです。
南部 陽香 高等学校英語科志望	英語科では新学習指導要領で話す・書くなどのアウトプットに重きを置かれたことが大きな特徴ですが、英語を話すことを躊躇う生徒もまだまだ沢山いるはずですが。私は生徒が英語で「話さない」とより「話したい」と思えるようにするには、教師はどのような支援や授業展開が出来るのかを主に研究したいと思っています。
能見 理希 高等学校英語科志望	私は教師になるために、留学や他大学で英語を専攻しての学習を行いました。しかし教科教育に着目するあまり、教育学における理論や実践の知識が伴っていないことを痛感しました。その為、教職大学院では一度持ち合わせている教育観を壊し、教科教育と教育学の理論の学習や実践を踏まえて、それらを再構築したいです。
橋本 佳典 高等学校理科志望	私は生物資源学部に所属した中で、科学的知識を応用する楽しさ・奥深さを知ることができました。また教職課程を履修し、人を導くことのやりがいとその難しさを垣間見れました。教職大学院での学びで、「追究することの楽しさ」をいかにして生徒に伝えるかといった、確かな教育実践力を身につけ教師として成長したいです。
林 直哉 四日市市立羽津小学校	教職大学院では、これまでの学校現場での実践を俯瞰的に見ることができると捉え、体育科を窓口として、これまでの実践と理論を結びつけて考えていきたいと思っています。主体的・対話的で深い学びの実現が求められている中、子どもの学びを中心に授業をつくっていくことができるよう研究していきたいと思っています。
山田 陽斗 高等学校数学科志望	自分は教育に関してあまりしっかりと知識をつけられていないので、教職大学院の間に、現職の先生や学部新卒の方たち、教職大学院の先生方から多くのことを学びたいです。また、この教職大学院で学んだことを自分が教員になった時に、しっかり活用できるように身につけ、将来の自分の生徒たちが社会に出て、より活躍できる手助けをしたいなと思います。
横田 幸大 津市立西が丘小学校	教職大学院で学ぶことに対して、快く送り出してくださった校長先生はじめ同僚の先生方、また家族に感謝して研修に励みたいと思います。現場を離れて学ぶ機会をいただきましたので、自分の問題意識に気づき、意味を問うところから始めて、教職大学院に集まったみなさんのお力を借りながら多面的・多角的に探究したいです。
島本 姫佳 小学校志望	教職大学院生になり、早1ヶ月が経とうとしています。何度目かの新しい生活が始まりましたが、4月はいつもドキドキ感が否めません。ですが、私の思う「教育」に耳を傾けていただく教授と出会い、共に学んでいく仲間と出会い、これからの学びに期待がいっぱいです。素敵な出会いにたくさん巡り合える2年間にしたいです。
服部 小百合 松阪市立第五小学校	毎日が目まぐるしく過ぎていく学校現場で、その状況が当たり前のように過ごしていました。今までとは全く違う環境で学べる機会をいただいたことに感謝し、特別支援教育のさまざまなテーマや課題について学び、その中でも自立活動に焦点をあてて学修を深めたいです。



第1回 入試説明会 参加者募集中!

申込フォーム

2022年5月29日(日)13:00-15:00 (Zoomによるオンライン開催)

・5/24(火)までに、申込フォーム(Google Forms)へのご記入をお願いします。

<https://forms.gle/7W7kXgXYGYzietQB9>

・お申込いただいた方には、5/26(木)に、Zoomの招待メールをお送りします。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院)入試・広報部会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☎ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>